

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

JKC (ジャパン ケネル クラブ) 東京ブロック
訓練競技会 理事長賞受賞(アマチュアの部) ※
※参加者約 100 組の頂点!

丹治 敏弘 さん (伊達地域)

皆さんは愛犬のしつけ度が評価される競技
をご存知だろうか? 人と犬の一体感、そして
何より「人も犬も楽しそう」であることが求
められる JKC 家庭犬訓練競技会は、愛犬と
過ごすための基礎が詰め込まれている。そん
な競技会を通して、丹治さんが見た景色は…



Profile ●たんじ としひろ

1952 年生まれ。72 歳。愛
犬と一緒に撮影。左からシリウ
スくん (シェ
ルティ 7 歳)、トリ
トンくん (ラフ・
コリー 12 歳)、
ギンガくん (シェ
ルティ 2 歳)。



小さな時から一緒▲



● JKC (ジャパンケネルクラブ) 家庭犬訓練競技会

コンパニオンドッグ (人間の
伴侶犬) といって、日頃のしつ
け (行進、招呼、伏せなど) の
成果を試す競技会。警察犬やそ
の卵、世界大会に出場する犬や
訓練士も参加する。福島では年
2 回 (6 月、10 月)
開催予定。

JKC の HP ▶



技会を知
り、愛犬と
目指す姿
がこれだ
とハッとし
ましたね。



競技会で上位に贈られるリボン
が自宅の玄関にずらりと並ぶ

我が子がやってはいけないこ
とをしてしまったら、場所なん
て関係なしに叱ると思うんで
す。それは犬に対しても態度を
変えず一緒であるべき。人と犬
が快適に過ごすためにも。

これは「幸せ」ってことです。
向かっていく自分が未だにいる
ことは「幸せ」ってことです。

微兵で中国に行っていた父
は、犬に教育をして村を守って
いる様子を目の当たりにしたそ
うです。父は帰国後に犬を飼い、
見様見真似で愛犬と魅力的な連
携を見せました。私も定年退職
を機に父を真似て、シリウス (写
真左) と歩み始めましたが思う
ようにいかず。もがいていた時
期もありましたが、ご縁があつ
て日本トップクラスのドッグト
レーナー・樽川雄太^{たるかわゆうた}さんに辿り
着きました。同時に JKC 競

技会はフリスビーや障害物
競走と比べると、脚側行進^{※1}
などを審査するので、華がなく
見える人もいるかもしれませんが
ね。しかし、審査は犬がよそ見
やクン活^{※2}をしただけで減点
になるシビアなもの。ましてや
他の犬たちもいる会場で動じな
いようにするには、日頃からの
しつけと飼い主である自分自身
の成長が大事なんです。散歩は
1 頭に 2 時間程かけてますが、
それでも足りないくらい (笑)。

この子たちは近所の方々にも
可愛がっていただいています。犬
たちがいたから家族間の会話に
も困らないし、自分自身もボケ
ずに健康でいられるし、良いこ
とと尽くしで
感謝感謝な
んです。これ
からも一緒に
成長していき
たいですね!



ギンガくんと練習の間

※1…人の左側に、人の膝と犬の肩端が平行に
なる位置を保ちながら歩行すること

※2…周囲の匂いを嗅ぐこと